

グローバル化時代における我が社の取り組み

技術移転と海外事業展開

海外事業部 志水 信雄・真屋 学・野中 一郎・河村 和夫

はじめに

アジア航測は創立以来、東南アジア、中近東、中南米、アフリカなどの発展途上国において日本政府による政府開発援助（以下、「ODA」とする。）で、測地測量を始め、地形図作成、GIS データ整備などさまざまな地理空間情報整備調査および森林保全調査を実施してきました。

2000年からの ODA 案件の受注実績は、図 1 に示すように、アジア 42 件、アフリカ 19 件、中南米 6 件、中近東 5 件、オセアニア 3 件、東欧 1 件です。この内、2 つの業務を取りあげて紹介すると共に、今後の海外展開方針を示します。

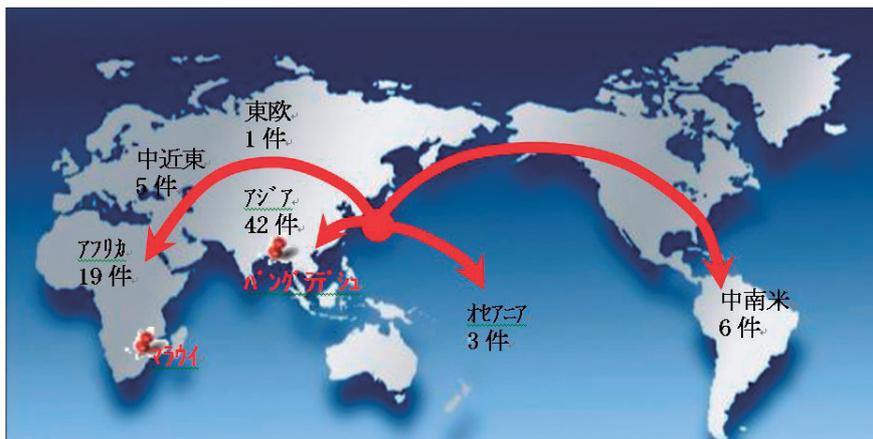


図1 アジア航測（株）のODA案件の受注実績（2000年～2013年）

バングラデシュ国 デジタル地図作成能力向上プロジェクト

バングラデシュ国では、国土の開発・保全事業を推進するにあたり、国土を網羅する空間基盤情報の更新が進んでいないなどの課題がありました。

日本政府は、バングラデシュ国発展のため、このような課題改善に向けて測量・地形図作成分野の技術協力を継続的に実施してきました。

アジア航測は、以下のプロジェクトを受注し、約 20 年の長い間、最新の基準点網や地形図などの基盤情報を成果として提供してきました。

- 1) 国土測地基準点網整備計画調査（1992 - 1995）
 - 2) 地図作成機材供与（1998 - 2000）
 - 3) ダッカ首都圏地域地図情報整備計画（2002 - 2004）
 - 4) デジタル地図作成能力向上プロジェクト（2009 - 2013）
- 2013年まで実施していた 4) のデジタル地図作成能力向上プロジェクトでは、測量局が進める地図作成事業にお

いて、職員が自立して作業ができるようになり（図 2）、今後、国家規模のプロジェクトを推進して行くことが期待されます。



図2 数値図化の実習

マラウイ国 森林保全計画

国際的課題である地球温暖化対策のために、日本政府は、2008年第4回アフリカ会議において、アフリカ諸国の気候変動対策の取組強化を表明しました。マラウイ国においては、環境プログラム無償資金協力「森林保全計画」が採択され、アジア航測は、その中の「森林資源マッピングプロジェクト」において、森林局と共に、以下に示す業務を実施しました。

- 1) 全土の土地利用・被覆図の作成 (1990年,2000年,2010年) および時系列的な土地利用・被覆変化の評価
- 2) 全土の森林減少リスク地域の抽出および将来の森林被覆変化予測
- 3) 全土の森林分類現況図 (2010年) の作成
- 4) 森林保護区の森林図作成と森林バイオマス量と森林炭素蓄積量の推計
- 5) 画像処理、GIS構築、森林調査の技術移転 (図3)
- 6) GIS・衛星画像処理機材供与

本業務を通じて、森林局が森林管理のための基礎データ更新や具体的な森林管理計画を実施できるようになったことは、マラウイ国の将来の REDD+ 活動に大いに役立つものと考えています。



図3 OJTによる森林調査

グローバル化時代に向けた我が社の海外事業展開

アジア航測は、中期経営計画に基づく新たなビジネスモデル構築の目的の一つとして、グローバル展開の強化を掲げています。これは、国内市場から海外市場への進出が基本にあります。ただし、わが国の ODA 事業予算も 1997 年をピークに減少傾向にあること、かつて開発途上国と呼ばれた国々も経済発展を遂げ被援助国から脱却しつつあることなどから、これまでの ODA だけに依存したビジネスモデルを修正する必要があります。

この方針のもと、短期的には、安定的な経営を可能にするため、従来通り ODA を対象に大きな経済成長が見込まれるミャンマー国およびアフリカ市場において、営業展開を推進します。また中長期的には、我が社のコア技術や先端技術を活用することにより、ASEAN 諸国における地場企業やグローバル企業との連携を拡充し、旧開発途上国 (中進国) における他国際機関や民間のビジネス事業などの Non-ODA 領域への展開を推進して行きます。

Asia Air Survey Myanmar Co., Ltd.の設立

グローバル展開の強化として、2013年10月に Asia Air Survey Myanmar Co., Ltd. (100%子会社) をヤンゴン市に設立しました。ミャンマー国は、新政権が誕生し民主化に移行して以来、‘アジア最後のフロンティア’

として世界各国からの投資が急拡大しています。測量・コンサルタント業務を主業務としてミャンマー国で活性化する ODA などの開発事業に取り組み、また積極的に ASEAN 市場を開拓します。

おわりに

アジア航測は、創業 60 周年を機に、アジア地域に初めて本格的に拠点 (海外子会社) を設け、社名に現した創業者の志の実現に大きな一歩を踏み出しました。今後も、

さらなる技術力と品質の向上に努め、国際プロジェクトも実施できる企業として成長し続けたいと思います。